



WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2600地区 上田ロータリークラブ
(創立1959年11月12日)



**UNITE
FOR
GOOD**

よいことのために
手をとりあおう

2025-2026年度 国際ロータリーメッセージ

よいことのために手をとりあおう

R.I.会長 フランチェスコ・アレツツォ

国際ロータリー第2600地区 ガバナー 小林 磨史

2025-26年度 上田ロータリークラブ

- 会長 窪田 秀徳 ●副会長 内河 利夫・飯島 幸宏
- 幹事 湯田 勝己 ●会報委員長 藤森 幸路

第3012回例会 (令和8年2月2日)



ホームページQR

[慶祝行事]

お誕生月 6名

- 伊藤典夫さん
- 田中克明さん
- 内河利夫さん
- 成澤 厚さん
- 上島孝雄さん
- 湯田勝己さん



結婚記念月 2名

- 出田行徳さん
- 窪田秀徳さん



事業創立記念月 5名

- 飯島幸宏さん
- 土屋勝浩さん
- 上島孝雄さん
- 保科茂久さん
- 桑原茂実さん



皆出席 2名

- 内河利夫さん(6年)
- 酒巻 弘さん(6年)



[会長挨拶]

窪田 秀徳 会長



本日は、横谷重則さんに「忍者」についての前編をお話いただきました。本日は、いよいよ後編「忍者」「真田十勇士」の知られざる興味深い真実に迫っていただきます。

さて、話は変わりますが、2026年2月6日～2月22日まで「第25回オリンピック冬季競技大会」が始まります。

思い出してください。

今から28年前、私たちは1998年長野冬季オリンピックという歴史的な大会を、この信州で迎えました。

あの時の空気感を、覚えていらっしゃる方も多いと思います。

世界中から選手や観客が訪れ、ボランティアの皆さんが雪の中で笑顔を決め、地域の人たちが自然に手を取り合い、「長野を、信州を、日本を、日本人のアスリートの素晴らしさ伝えたい」そんな思いが、長野県は元より日本全体が願っていました。

あれは単なるスポーツイベントではなく、地域の誇りと、人と人との絆が可視化された瞬間だったと、私は思っています。

そして今年、世界は再び冬季オリンピックを迎えます。舞台は『2026年ミラノ・コルティナダンペッツォ冬季オリンピック』。

この大会は、長野とはまったく違う形を選びました。一つの都市に集約せず、複数の地域で分散開催し、新しい巨大施設を極力つくらず、既存の街や自然を活かす。

つまり、「オリンピックのための街づくり」ではなく「地域の未来のためのオリンピック」という考え方です。

私はここに、大きな時代の転換を感じています。

長野五輪は、“世界に信州を知ってもらう大会”でした。

ミラノ・コルティナは、“地域と共に未来をつくる大会”です。

そしてこれは、私たちロータリーにも通じる話だと思います。

私たちは特別なことはできないかもしれませんが。

けれど…

- ・顔の見える関係を大切に
- ・小さな行動を積み重ね
- ・仲間と地域の中に信頼という“絆”を育てていく

その営みこそが、まちの底力になり、次の世代への財産になります。

今年度のテーマは「地域と仲間の“絆”物語」です。

長野五輪のとき、確かにこの信州には“物語”がありました。

そして今、私たちはその物語の続きを生きています。

本日もどうぞ、よろしくお願いいたします。

[ゲストスピーチ]

◆横谷 重則さん

真田忍者十勇士の会代表

横谷左近幸重より13代目



前は横谷家の現在に至るまでのお話し、真田忍者と伊賀甲賀の関係性と真田忍者修練場と今の忍者状況のお話をさせて頂きました。更に31日手裏剣打全国大会で修練場のスタッフ忍者月影さんが見事優勝致しました。

有難う御座いました。

今回は左近兄弟が活躍致しました戦国のお話しと忍術「虎巻大事」の解説を致します。

まず当時武田家臣の真田が吾妻に進攻して参りまして横谷はじめ吾妻の武将たちは従いました。左近は軍記「加沢記」によりますと、真田昌幸の馬回り役としてほとんどの戦に参戦して居りました。そして沼田が信之領と成った後、起こりましたのが、関ヶ原の戦い前の「犬伏の別れ」で有ります。ご存じ親子兄弟が東西敵味方に成った訳ですが、その時の働きに対して与えられたのが横谷に

残ります感状で有ります。

まず信濃を通らず上野沼田を選んだ事(小諸等は徳川方であった為)実は親子通じていた事その為小松姫の入城拒否の話は有名な話です。そして信之の家臣である左近が無事に上田に帰城出来た事への感状で有る事が西軍勝利の時の吾妻衆取込み布石である様です。

横谷においては信繁が熱を出し二日程滞在もしたそうです。

その後は三男庄八郎を仕えさせ、横谷兄弟も敵味方に別れました。

横谷家系図には戦国最後の戦大阪の陣の事が記されています。

左近と次男惣右衛門幸秀は信之の子信吉沼田藩で参戦(信之は仮病を使い出陣せずの話も有ります)幸秀は元和元年5月7日夏の陣において沼田藩36名の死傷者の一人として討死致しました。三男庄八郎重氏は九度山に付随しその後、信繁大阪入りの際も従い慶長19年真田丸にて討死致しました。忍者猿飛佐助のモデルとすると庄八郎だと思えます。

四男幸安は信之に従い松代横谷の祖と成りました。

そして真田忍者の証忍術「虎巻大事」で有ります。虎の巻とは古代中国の兵法書「六韜」の中の虎韜から来ているようです。空海が伝えた真言密教と山岳信仰修験の武術が融合した様に思われます。初めにエナを取って書かれています。これは動物の胎盤の事で今で言うプラセンタの事です。生命の源、力たぎらせる為の様です。また随所に梵字や真言九字そして肝心な所は口伝と成っています。中には実践的な「敵 鋒飛ル法」「弓弦切ル法」「走馬留法」やお馴染み「霞之法」「忍法」など様々な術が記されています。

まだまだ解明されていない事ばかりです。

最後に横谷は沼田藩改易に始まり、明治維新、震災、大戦を乗り越え、最近ですとバブル崩壊何度も手放す危機が有りました。こうしてお話出来ますのも多忙な父重時の代わりに群馬大や東大史料編纂所の先生の対応し教を請うた母十三子のお蔭と思っています。

私も息子に大切に継承して参ります。

真田十勇士の活躍はフィクションでは無く真田忍者も実在した事を知って頂き今後も上田地域盛り上げの一助と成ります様活動して参ります。有難う御座いました。

[委員会報告]

成澤 厚 社会奉仕委員会 委員長

[幹事報告]

湯田 勝己 幹事

1. 米山記念奨学会

終了奨学生連絡先Web登録と提出物についてご案内
とお願い

2. 地区事務所

「書損じハガキキャンペーン」について
小諸RCオープン例会について詳細
「次期地区チーム研修セミナー」のご案内
～地区研修・協議会のための

地区指導者打ち合わせ会～

ガバナー月信2月号ご案内(URL)

3. 東近江RC

創立65周年記念式典のご案内

4. うえだこどもまつり実行委員会

第54回うえだこどもまつり報告書の送付について

5. 国連UNHCR協会

UNHCRの難民援助活動についての資料と
寄付のお願い

[ニコニコBOX]

小山 宏幸 委員長

飯島幸宏さん 石井慧人さん 出田行徳さん 伊藤
典夫さん 内河利夫さん 小幡晃大さん 大日方新治さん
上島孝雄さん 窪田秀徳さん 桑澤俊恵さん 桑原
茂実さん 小林浩太郎さん 小山宏幸さん 佐藤倫さん
酒井喜雄さん 酒巻弘さん 滋野眞さん 鈴木芳朋さん
関啓治さん 関勇治さん 高橋鼓さん 滝沢秀一さん
竹田和徳さん 成澤厚さん 藤森幸路さん 布施
修一郎さん 保科茂久さん 増澤宗さん 三井英和さん
宮川泰さん 柳澤日出男さん 柳澤雄次郎さん 湯田
勝己さん 横沢泰男さん

本日喜投額 34名 ￥ 78,000

累 計 ￥1,223,000

[例会の記録]

司会：鈴木 芳朋 会場・出席委員

斉唱：国歌・ロータリーソング

●ゲスト紹介

◆横谷 重則 様 真田家家臣横谷左近13代目

上田城真田忍者修練場運営

真田忍者十遊士の会 代表

●慶祝 ●会長挨拶 ●幹事報告

●メインプログラム ゲストスピーチ

横谷 重則 様 「真田忍者忍術について」

[ラッキー賞]

大日方新治さん(窪田秀徳さんより 名古屋のお土産)

佐藤 倫さん(窪田秀徳さんより 名古屋のお土産)

伊藤 典夫さん(小林浩太郎さんより

タイのショートパンツ)

湯田 勝己さん(小林浩太郎さんより

タイのショートパンツ)

小林浩太郎さん(滋野 眞さんより 雪中梅)

柄澤 俊弘さん(横沢泰男さんより タイのお土産)

柳澤雄次郎さん(藤森幸路さんより タイのお土産)



[出席報告]

鈴木 芳朋 会場・出席委員

	会員数	出席 ベース	出席 者数	出席 免除(b) ()内は 出席者数	出席 免除(a)	メーク アップ ()内は Make up後	出席率
本日 (2/2)	51	50	44 コロナ欠席 0	4(3)			88.00
前々回 (1/19)	51	49	39	4(3)		3(42) コロナ欠席 0	85.71

[次回例会予定]

2月16日(月) ゲストスピーチ MANABI外語学院

(2月9日発行)

【会報担当】 高橋 鼓 会報委員

【国際奉仕事業報告】

タイ国・ワトシンRCとの 共同支援活動



日時

2026 年
1 月 29 日(木)

協力
クラブ

国際ロータリー第 3350 地区
ワトシン・ロータリークラブ(タイ)

この度、上田ロータリークラブは、タイのワトシンRCのご協力を得て、現地の子供たちへの支援活動を実施いたしました。子供たちの輝く笑顔に触れ、参加メンバー一同、改めて奉仕の喜びを実感し、心が癒される貴重なひとときとなりました。



支援内容・規模

今回の支援では、総勢369名の子供たちへ教育・生活支援を届けました。

項目	内容
支援総額	184,500バーツ
上田RC拠出額	30,000バーツ
支援対象者数	369名



上田 RC 参加者 (敬称略)

- 金子 良夫 (直前会長)
- 横沢 泰男
- 小林 浩太郎・令夫人
- 藤森 幸路